



会長あいさつ

山形県在宅保健活動者連絡協議会(いつわ会) 会長 水上 由美子

新型コロナウイルス感染症もようやく沈静化し、感染症法上の分類が2類から5類へ移行となったことで、人々の日常生活の行動制限が緩和され、イベントや研修会等が徐々に復活してきました。感染拡大の4年前とは全く同じではなく、新しいやり方で社会が進み始めています。

いつわ会では、昨年全体の研修会において、直接会場に参集いただく方とWebで参加いただく方のハイブリット形式で開催し、好評を得ることができました。講師が一方的にお話しされるだけでなく、会場からの質問に丁寧に答えてくださり、時には笑いを交えながら適切なアドバイスをいただける雰囲気での研修会でした。やはり直接対面で受ける研修会は感動があるのではないかという印象を持ちました。

ところで、国立社会保障・人口問題研究所の公表によると、山形県の人口は、2020年106万8千人だったのが、2050年には71万1千人まで減少すると予測されています。また、減少率は33.4%と全国で6番目に高くなりました。県内35市町村のうち14市町村で半分以下の人口規模になるとのことです。健康に関心を持ち病気を予防し、元気な毎日を過ごすため、いつわ会の皆様の活躍の場面はたくさんあるようです。豊かな長寿社会を目指していつわ会活動への御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年も明るく健康な良い年でありますよう心から願っております。

最後になりますが、新年に発生した能登半島地震で被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

令和5年度事業(中間報告)

令和6年2月現在

事業名	日時	内容
役員会	令和5年 4月 13日 令和5年 6月 14日 令和5年 11月 30日	3回開催 (11月はハイブリット形式で開催)
いつわ会全体研修会	令和5年 7月 11日	講演、情報提供
いつわ会ブロック研修会	令和5年 9～11月	詳細は本誌2～3頁参照
特定保健指導従事者研修会	令和5年 11月 10日	保険者協議会主催の研修会にWebで参加(19名)
令和5年度東北地方在宅保健師等会連絡会議	令和5年 12月 7～8日	開催県:青森県 山形県から4名参加 詳細は本誌4～5頁参照
会報発行(第41・42号)	令和5年 8月 令和6年 3月	いつわ会全体研修会等 ブロック研修会等
救護協力	令和5年 5月～ 令和6年 2月	運動・スポーツ大会の救護・応急処置 (延べ52名協力)
会員活動アンケート調査	令和6年 3月	

令和
5年度

いつわ会ブロック研修会

村山ブロック

- とき 令和5年9月8日(金)
- ところ 山形県国保会館(寒河江市)
- 参集者 19名

1 講話と実技 「がんばらないセルフコンディショニング ～一生涯元気に動くために～」

講師／山形済生病院健康増進センターめぐみ
課長代理・健康運動指導士 遠藤 美子 氏

アンケートから

- 普段動かさない部分にも血液の流れが感じられ気持ち良い。気分も爽快になりました。
- 無理のない運動で「こんな私でもできるかも?」と感じられ、笑いあり楽しい有意義な講話でした。
- 体を動かしてとても気持ち良かったです。体のコンディショニングを整える方法について、もっとくわしく学びたいと思いました。
- 年代に関わらず、簡単ですぐできる効果的なやり方を学ぶことができた。



2 講話 「最近の感染症の動向と対応」

講師／村山保健所地域保健主幹 伊藤 京子 氏

アンケートから

- コロナが落ちついてノロウイルスの対策が施設で出来ていなかったことに驚きました。いつも感染症動向の情報提供をいただき助かっています。
- 日頃から、感染動向は確認していますが、注目すべき部分や、カラーで見ることのできやすい点もあったため、参考になった。
- きちんとした資料も貴重でいただけありがとうございました。実例も参考になりました。
- 最新のお話を伺うことで参考になった。



最上ブロック

- とき 令和5年9月12日(火)
- ところ ゆめりあ(新庄市)
- 参集者 10名

1 講話と実技 「ロコモを防いで延ばそう健康寿命!」

講師／公立置賜総合病院リハビリテーション部
技師長(作業療法士) 井上 健 氏

アンケートから

- 効果ある運動のしかた、目からうるこです。改めて生活の中で思い出しながらやってみたいと思います。最近腰が曲がってきたとよく言われるのでさっそくやってみます。
- 楽しいお話、自分の日常を振り返り反省、立っている時間、ウォーキング、生活の中、今日のお話生かしていきたい。
- まずは自分の為に意識しながら楽しくやってみます。それから、地域の人たちにおりにふれ話していこうと思います。
- 友達や近所の高齢者におしえてあげたいと強く思いました。
- 何もないとすぐ横になる事が多い生活なので、今日の研修は大変参考になりました。今後は立っている時間を多くしたいと思いました。ありがとうございました。



2 情報交換等 「いつわ会活動について」

- ・いつわ会会員数の推移について
- ・いつわ会活動内容と今後の活動について

庄内ブロック

とき 令和5年10月11日(水)

ところ なの花ホール(三川町)

参集者 16名

1 講演

「健康長寿は歯と口の健康から」

講師／鶴岡地区歯科医師会 会長
毛呂 光一 氏

アンケートから

- 軽快な語り口で、楽しく聴くことができました。
- 今、情報はその気になれば十分得られる時代ですが、細かな点まで良く理解できました。友人、知人にもこの情報を伝えたいと思いました。
- 口腔ケアの重要性が再確認できた。インプラントやホワイトニングなどTVコマーシャルで紹介されているが、専門家の考えや実情がきけて参考になりました。
- 歯みがき新情報、今晚から実践します。研修会に参加するとやっぱりお得ですね。
- わかりやすい内容でした。特にレントゲン写真、唾液腺マッサージの動画。



2 情報交換等

「いつわ会活動について」

- ・いつわ会会員数の推移について
- ・いつわ会活動内容と今後の活動について

置賜ブロック

とき 令和5年11月16日(木)

ところ えくぼプラザ(南陽市)

参集者 22名

1 講話

「認知症に気づくポイント ～認知症になっても地域で暮らすために～」

講師／公立高島病院
認知症看護認定看護師 我孫子 久美 氏

アンケートから

- 地域保健活動を進めていくにあたって、また、自分自身のこれからの生き方を考えていくにあたって、とても参考になりました。
- 長生きすれば認知症は避けられない。我が身と思いつ明日からの生活に生かしたい。
- 認知症グループホームに行っているのでもとても参考になりました。笑顔を心がけるようにしたいと思います。ありがとうございました。
- 資料の質問票やスケールがとても参考になり、ありがとうございました。運転免許証の返納について考えなければならないなとつくづく感じました。家族と今のうちから話題にしておきたいと思います。
- 認知症についてわかりやすく説明あり、対応についても再確認することができました。



2 情報交換等

「いつわ会活動について」

- ・いつわ会会員数の推移について
- ・いつわ会活動内容と今後の活動について

令和5年度 東北地方在宅保健師等会連絡会議

報告

と き／令和5年12月7日(木)～8日(金)
ところ／東奥日報新町ビル(青森市)

東北6県に新潟県を含めた7県の在宅保健師等会のための連絡会議が青森県主催で開催され、56名の参加があり、うち山形県より4名の会員(役員)が参加いたしました。

会議内容

● 講演

「自殺対策のこれから ～コロナ禍で深まった生きづらさを踏まえて～」

公立大学法人青森県立保健大学

教授 反町 吉秀 氏

(主な内容)

- ・自殺はストレスの問題か「生きづらさ」の問題か?
- ・自殺対策基本法と自殺総合対策の理念
- ・コロナ禍で何が起きているのか?
- ・自殺の対人関係理論
- ～人はどのようにして、死にたくなるのか
- ・生きづらさを抱える人を支える地域づくりとは?

● 講演

「国保保健事業を取り巻く動き」

国民健康保険中央会

課長代理 山口 道子 氏

(主な内容)

- ・国の動きについて
- ・在宅保健師等会の全国的状況等について



全体の集合写真(青森県事務局撮影)



コロナ禍以降4年ぶりの参集形式での開催

● 報告

「都道府県在宅保健師等会全国連絡会 役員会について」

都道府県在宅保健師等会全国連絡会役員

福島県在宅保健師の会「絆」 会長 丹野 由美子 氏

(主な内容)

- ・令和4年度都道府県在宅保健師等会
全国連絡会の結果
- ・過去5年間の開催状況(平成30年度～令和4年度)
- ・令和5年度都道府県在宅保健師等会
全国連絡会の開催(案)について

開催形態:資料の公表及び説明動画を収録したDVD配布及び
YouTube限定配信
配布配信時期:2月頃

● 青森県在宅保健師の会活動報告

「会の活動の概要について」

青森県在宅保健師の会 会長 新井山 洋子 氏

「南部町小波田地区『ほっこり会』サロン活動」

青森県在宅保健師の会 会員 能登 富枝 氏

● グループ別情報交換

- ・現在の会員自身の活動
- ・在宅保健師等会での活動
- ・自殺対策への関わり、講演を聞いての感想
- ・発表

講評:国民健康保険中央会 課長代理 山口 道子 氏

報告

幹事 吉田 美智子(村山地区)

コロナ禍で、顔を合わせての開催は4年ぶりとなる東北地方在宅保健師等会連絡会議に出席させていただきました。

久しぶりの開催に、力の入っている青森県の皆さまに圧倒されながらの研修でした。中でも印象に残ったものが2つあります。

1つは自殺対策についてです。コロナ禍で自殺が増加しているのは報道でも周知のとおりです。しかし、“健康問題で自殺した”の背後には、孤独・孤立があるということです。同居家族がいても孤立はあるし、高齢女性の自殺の増加の話がありました。高齢者の居場所づくりには、私たち会員も多く関わっていますが、これからも積極的に関わっていくことの大切さを痛感しました。

もう1つは、グループワークです。80才を優に超える会員の方と一緒にしました。とてもお元気で前日の情報交換会でもとてもパワフルでした。その方が、「会員として何も協力できることがないので辞めた



真剣なまなざしでグループワークに臨む吉田幹事

い」と言っておられました。皆さんの話し合いの中で、この会は、会員として仕事をするだけでなく、会員として在籍し、現役の皆さんを見守ることが大切だという結論になりました。講評でも「現役の人とのつながりを大切に、ほそぼそでも途切れないように、関わり続けましょう」と言ってくださいました。

来年は、山形が会場です。水上会長のもと会員一丸となってお迎えしましょう。



夜の情報交換会では青森県の皆さんが伝統芸能「スコープ三味線」を披露してくださいました。アンコールでは各県の会長さん方も一緒に踊り、我らが山形県の水上市会長も素晴らしい演技を見せてくださいました。最高の「おもてなし」ありがとうございました。

報告

幹事 今野 さゆり(置賜地区)

令和5年12月7日と8日の2日間、青森県青森市で東北地方在宅保健師等会連絡会議が行われました。

1日目の講演は「自殺対策のこれから～コロナ禍で深まった生きづらさを踏まえて～」と題して、講師は公立大学法人青森県立保健大学健康科学部看護学科健康科学研究科 教授の反町吉秀先生です。近年自殺対策を考えさせられるニュースや講演に触れる機会も増えてきています。若年層から高齢者まで増えている自殺。その原因としては「孤独、孤立」に見られるよう対策が必要だとお話しされていました。その対策のお話の中で居場所づくりに対する先生の細やかなメッセージに感動しました。今後機会があればもう一度講演を聞きたいと思います。

次に国民健康保険中央会保健福祉部保健事業課 課長代理 山口道子氏から「国保保健事業を取り巻く動き」と題して、2040年頃を展望した社会保障改革の新たな局面と課題のお話でした。資料のとても小さな一行でしたが、70歳までの就業機会の確保という一文になぜかため息が出ました。

次に福島県在宅保健師の会「絆」会長 丹野由美子氏から「都道府県在宅保健師等会全国連絡会役員会について」の報告がありました。

2日目は青森県在宅保健師の会 会長 新井山洋子氏と、会員 能登富枝氏から活動報告がありました。南部町小波田地区『ほっこり会』サロン活動の報告には参考にさせていただきたいと思える情報がたくさんありました。大変な苦労もあったかと思われませんが、青森の方の持ち前の明るさと元気が、名前の通りほっこりとさせる集まりの場所になっていたのかもしれない。

最後にグループ別情報交換がありました。各地区とも会員の不足を相談されていたようです。来年は山形県で東北地方在宅保健師等会連絡会議

が行われる予定だということでした。今回の青森県を参考に「おもてなし」を考えたいと思います。



スコープ三味線を見てにこにこ笑顔の竹田幹事と今野幹事

会員の状況

会員数 246名 (令和6年2月1日現在)

年齢構成 (平均年齢 68.9歳)

年齢階層別	人数
40歳未満	1
40～49歳	5
50～59歳	23
60～69歳	122
70～79歳	74
80歳以上	21
計	246

職種・地区別

	村山	最上	置賜	庄内	合計
保健師	39	13	15	27	94
助産師	13	1	0	6	20
看護師	17	8	8	34	67
准看護師	3	2	3	1	9
管理栄養士	9	5	4	6	24
栄養士	2	1	1	0	4
歯科衛生士	13	3	9	3	28
合計	96	33	40	77	246

新入会員 (令和5年入会)

	村山	最上	庄内	合計
保健師	2	1	4	7
助産師	4	0	1	5
看護師	3	0	1	4
管理栄養士	0	1	1	2
栄養士	0	1	0	1
歯科衛生士	0	0	3	3
合計	9	3	10	22

令和5年は22名の方が新たに入会されました。
皆様どうぞよろしくお祈りします。

庄内地区に、歯科衛生士さんが
いつわ会設立以来初めて入会！

～新会員 (庄内地区 歯科衛生士 吉田さん)から一言～

多職種の方とつながりながら、地域に予防歯科を広げたいと思っています。口腔ケアを通し、少しでも地域に貢献できたらと思い、様々な職種の会員がおられるいつわ会に入会しました。どうぞよろしくお祈りします。

お知らせ

市町村保健事業担当者の皆さんへ!

いつわ会では、健康・栄養相談、訪問指導、その他の保健事業に保健活動者を派遣しています。健康イベント等の際の健康相談、救護等に依頼してみませんか？
今年度退職予定(再任用の方も含む)の方、是非いつわ会に入会をお願いします。

会員の皆様へ

令和5年度は、いつわ会の全体研修会及びブロック研修会を開催しました。開催にあたっては、感染対策のため、開催時間を短縮したり、ハイブリッド形式での開催等工夫して実施したところです。
また、山形県国保地域医療学会も4年ぶりに開催され、会員の方からも御参加いただきました。次年度も研修会や学会の開催を予定しております。皆様の御参加をお待ちしております。
さらに東北地方在宅保健師等会連絡会議が山形県にて令和6年12月開催予定となっております。

会員募集

入会費・会費無料

あなたも
楽しく活動してみませんか？

随時、新入会員を募集しています。
今までの専門職としての経験を、自分の住んでいる地域の健康づくりに役立てましょう。
お知り合いの方にぜひ御紹介をお願いします。

事務局

〒991-0041

山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地 国保会館内
山形県国民健康保険団体連合会 事業課保健事業係
TEL 0237-87-8002 FAX 0237-83-3353

印刷 コロニー印刷

申し込み、問い合わせは、事務局連絡先まで